

## 教育課程（教育目標と教育方針）

### 1 スクール・ミッション

校是「全員指導者たれ」に基づく「自主・自律・人間尊重」を教育目標とし、進路、学習、生活指導を総合的に一体化した指導方法であり、開校以来の理念「大家族主義」に根ざす教育活動を通じて、学力・創造力・リーダーシップを身に付け、持続可能な未来を創るリーダーとなりうる人材を育成します。

### 2 教育目標

本校の校是「全員指導者たれ」及び教育目標「自主・自律・人間尊重」を達成するため、生徒、保護者及び都民の期待に応える特色ある教育活動を展開して次のような学校を目指す。

- ① 生徒の学力を最大限に伸ばし生涯学び続ける力を育成する学校（学力向上・学習指導）
- ② 次代を担うたくましいリーダーを育てる学校（全人教育・生活指導）
- ③ すべての生徒が希望する進路を実現できる学校（希望進路実現・進路指導）
- ④ 生徒、保護者、都民から信頼され、地域に貢献する学校（地域貢献）

### 3 スクール・ポリシー

#### （1）グラデュエーション・ポリシー

- ① 授業を中心とした学習により高校段階での必要かつ十分な学力を身につけ、更に総合的な探究の時間や理数研究校、英語教育推進校の取組を通して、大学や企業で求められる自ら課題を定義し、そのことに関して積極的に調査や議論をして、よりその課題に対して考えを深める課題解決能力の身に付ける。
- ② 挨拶、時間厳守の意識、身だしなみなどの指導を日常生活から徹底し、ルールを守り、周りの人と困難に立ち向かう「自主・自立の精神」の育成と他の意見を聴き人格を重んじる「人間尊重の精神」を、進路、学習、生活指導を総合的に一体化する指導計画「新宿システム」の着実な実施を行うことにより体得させ将来の自分のありたい姿を明確に表現できるようにする。
- ③ インターンシップや奉仕など地域貢献を通し社会参画意識を向上させ、また臨海学校や行事、活動を通して周囲と家族のような信頼関係を積極的に構築し、将来、地域社会をまとめることができ指導者として次世代を担うリーダーとなる資質を身につける。

#### （2）カリキュラム・ポリシー

- ① 1・2年次は大学入学共通テストに対応した、文系・理系に分けない共通履修を行う。3年次は、進学型単位制の利点を生かし基礎・応用や演習など本校独自の学校設定科目も含め、各生徒の志望大学に合わせた幅広い科目選択を行う。
- ② 自分の興味関心に応じて、年次の区別なく自由に選択できる、第2外国語科目や英会話、芸術の授業も選択可能とする。
- ③ 社会や自然に対しての好奇心を総合的な探究の時間や理系活動研究を通して研究し、自分の考えを明確にして議論を行い、英語でも表現できるようにする。
- ④ 授業時間外の補習・講習を充実させ、学習達成度をもとにすべての生徒の進路実現に向けて個に応じた指導を組織的に行う。

#### （3）アドミッション・ポリシー

- ① 学習成績が優秀であり、入学後も学習に対する向上心を持ち、難関大学への進学を目指す生徒
- ② 社会や自然に対する幅広い知的興味や探求心を持ち、自ら学び、自ら考え、判断し、表現できることを目指す生徒
- ③ 挨拶・時間厳守・人の話を聞くこと・きちんとした服装や頭髮など、集団の一員としてのマナーを身に付けている生徒
- ④ 部活動や生徒会・委員会活動及び奉仕活動などに積極的に取り組んだ経験を持ち、学習との両立を前提に、高校生活においても様々な分野で活躍することに意欲をもつ生徒

## 4 指導の重点

### (1) 各教科・科目の指導

- ★①教科会、教科主任会を活用した組織的教科指導計画（PDCA）や生徒による授業評価・教員相互の授業参観を活用し、授業改善に努め、学力向上の取り組みの充実を図る。
- ②生徒の学習習慣（予習→授業→復習→確認フォロー）定着を図るため、計画的・組織的な小テスト実施や週末課題提供を行う。また、放課後自習室活用を推奨し、自学自習の定着につなげる。なお、課題の提供量について、教科間の連携強化を図る。
- ③CYOD導入に伴い、教科書等のデジタル化やオンラインでのテスト実施など行い、ICTを学びの道具として当たり前のよう使用できることを目指す。
- ④学習指導要領に基づき、全ての教科、総合的な探究の時間を通して、主権者教育の推進、豊かな心を育成する道徳教育の充実、心身ともに健康な生活を送るため体力向上の取組の充実を図る。特に水泳指導・縄跳びにおいて泳力・持久力を身に付けさせ、3年では4泳法による個人メドレー完成を目標とする。また、世界の国々の歴史・文化・習慣を学び、国際理解を深め、進んで平和な社会の実現に貢献できるよう、「学校2020 レガシー（オリパラ教育）の取り組み等、幅広い人間形成を目指す。

### (2) 特別活動の指導

- ★①学習指導要領に基づき特別活動を充実させて、生徒の主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を育成するとともに、様々な場面での指導を通して道徳教育の充実を図る。
- ②学校行事、部活動の指導により「文武両道」の教育を推進する。「集中と切り替え」を重点指導とし、時間厳守をさせて、学習習慣の定着と体力向上の両立を実現する。GOOD JOB CARD等を活用して、学級担任と部活動顧問間の連携を推進する。
- ③ホームルーム活動、生徒会活動を推進する。特に生徒会活動ではクリーンアップ運動、挨拶運動、国際交流等を行う。

### (3) 生活指導

- ①自律的生活習慣及び規範意識の確立を全ての教育活動の基礎と位置づけ、組織的指導を行う。具体的には、人間尊重、規範意識の向上、挨拶励行、時間厳守、身だしなみ、清掃徹底、人の話を聴くことを重点項目とする。
- ②学校保健計画に基づいた保健指導を行うとともに、セーフティ教室等により薬物乱用防止教育を推進する。
- ③消防署、警察署、近隣施設と連携して、年間4回の避難訓練、宿泊を伴う防災体験活動を計画的に行い、防災教育の充実を図る。
- ④生徒の健全育成に向け、家庭と協力して生徒の悩みや不安を適切に把握するとともに、定期的なアンケートや面接の実施、教育相談連絡会による個別事案の検討、スクールカウンセラーの活用を促進し、いじめの防止の取り組み、自殺対策に資する教育の推進の徹底を図る。
- ⑤生徒の実態に基づいた学習環境の充実を図り、必要とする生徒に対する特別支援教育を推進する。

### (4) 進路指導

- ★①『新宿システム』（進路・学習・生活指導を一体化した計画）を推進し、生徒の第一志望実現を叶える。そのため、進路指導部を中心に組織的に学力定点観測、目線合わせ（3年各生徒の志望校合格対策）を実施し教職員の共通理解を推進することで生徒理解を深め進路指導に還元する。補習・講習（年間1700時間目標）、勉強合宿、学年集会等を行い、生徒の学力向上・自己啓発を図る。
  - ②高大連携、大学分野別模擬講義、キャリアガイダンス等によるキャリア教育の推進を図り、生徒一人一人が希望する進路実現を目指す。
  - ③図書部・進路指導部・教科が連携し、推奨本の選定・PRや生徒の読書感想文配布、課題図書の設定をする。また、「新書を読もう！（新宿高校生のための書物を「新書」と名付けてリストアップし、生徒に推薦する取組）」、校内ビブリオバトル実施や読書週間の設定等を通して、読書活動の推進と、言語活動の充実を図る。
- 以上のことを通して生徒が主体的に進路を選択できる力を涵養する。

## (5) 総合的な探究の時間

- 1 年次：「高校生と自分/自己理解と将来」「教科・人間と社会（代替）」において、これからの地域社会をよりよく生きていくために必要な力を育成するため、キャリア教育、道徳教育を推進する。
- 2 年次：「高校生と自分/自己啓発と将来」において新宿文化の発信と海外交流も視野にいれた教育活動を実践しキャリア教育を推進する。
- 3 年次：「高校生と自分/課題認識」において、生徒の「生きる力」を育むため、奉仕活動やキャリア教育等を行う。評価は、学年毎に設定した目標への到達状況等により行い、地域研究開発論文で評価を行う。

## 5 教育目標達成のための特色ある教育活動等

### (1) 教育目標達成のための特色ある教育活動

- ①自学自習の定着を重点項目とし、「セミナー講習」、「オンライン（オンデマンド）授業」、「学習時間調査」などを充実・発展させる。
- ②教科主任会が中心となり、教員相互の授業参観を全教員が行い、授業改善の一助とする。
- ③家庭、保護者、卒業生等と連携し「PTA進路講演会」「部活動合同保護者会」「分野別模擬授業」「合格速報会」などの取り組みを充実させる。

### (2) 学校週5日制への対応

- ①年間18回の土曜日授業を実施する。また、土曜午後に保護者会を定例実施し、多くの保護者の参加を目指す。
- ②6、10月の年間2回の土曜授業日に、保護者、地域、中学生等への授業公開を行う。
- ③土曜午後、年間計画のもとで、公開講座を設定し、地域の方々を募集し、特色ある公開講座事業を提供する。
- ④土曜午後を活用し、学校運営連絡協議会を年3回実施する。協議委員の意見を学校経営改善に資する。